

# 母子父子福祉センター選定評価委員会

## 評価結果報告書

### 1 対象施設

公の施設の名称：母子父子福祉センター

所在地：豊中市中桜塚2丁目28番8号

所管部局：こども未来部子育て給付課

### 2 指定管理者

指定管理者の名称：社会福祉法人豊中市母子寡婦福祉会

指定期間：令和3年(2021年)4月1日から令和8年(2026年)3月31日まで

公募・非公募の区分：公募

### 3 選定評価委員会の構成

委員氏名	役職等	備考
浦田 雅夫	京都女子大学 発達教育学部 児童学科 教授	会長
宮下 幾久子	千里中央法律事務所 弁護士	職務代理者
吉本 英明	日本経営ウィル税理士法人 大阪事務所 税理士	
久世 直子	社労士事務所 HANA 特定社会保険労務士 キャリアコンサルタント	
林 雅代		市民公募委員
今村 日向子		市民公募委員

### 4 評価の方法及び経過

#### (1)方法

- ① 書類審査
- ② 現場確認
- ③ ヒアリング

## (2)経過

	開催日	案件
第1回	令和5年7月14日	評価基準の決定、審査に必要な書類決定
第2回	令和5年10月5日	書類審査・現場確認
第3回	令和5年11月27日	ヒアリング審査

## 5 評価の対象期間

令和3年4月から令和5年3月までの2か年

## 6 評価の参考とした資料

- 豊中市立母子父子福祉センターの管理運営に関する基本協定書及び年度協定書、仕様書
- 豊中市立母子父子福祉センター管理運営業務サービス水準合意書（SLA）
- 豊中市立母子父子福祉センター管理状況報告書（令和3・4年度）
- 豊中市立母子父子福祉センター定期報告書（令和3・4年度）
- 指定管理者制度導入施設の管理運営業務の年度評価（令和3・4年度）
- 団体の概要、定款、役員等の名簿  
豊中市母子寡婦福祉会事業報告書（令和3・4年度）  
豊中市母子寡婦福祉会事業計画書（令和3・4年度）  
母子相談カード、豊中市母子寡婦福祉会リーフレット
- 指定管理者財務関係書類  
収支決算報告書（令和3～4年度）、勘定科目内訳明細書、公益法人等の損益計算書等の提出書、法人税・消費税・地方消費税の納税証明、府税・市税に未納がないことを証明する書類
- 指定管理者労務関係書類  
健康保険・厚生年金保険被保険者標準報酬改定・決定通知書、労働保険概算・増加概算・確定保険料・一般拠出金申告書・保険料の納付書・領収証書、就業規則、給与規程、育児・介護休業規程、時間外労働、休日労働に関する協定書、辞令・雇用契約書、保険料納入告知額・領収済額通知書、有給休暇管理簿

7 評価結果

	評価項目	評価ポイント	評価理由	評価						
1	基本姿勢	団体の経営目標等が公共の利益の増進に合致したものであるか 市の施策全般を理解し協力する姿勢があるか 地方自治法等の関連法令を遵守しているか 施設の設置目的に沿った事業運営を行っているか	団体の設置目的・姿勢は事業内容に沿ったものであり、前向きに取り組んでいるといえる。	B						
2	サービス水準・施設効用の発揮	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%; text-align: center;">その施設として重要と思われる業績の評価指標 (KPI)</td> <td style="width: 20%; text-align: center;">事業利用者延人数 (大をめざすもの)</td> <td style="width: 50%;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">目標値; 1, 500人</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">実績値; 令和3年度1, 400人、 令和4年度1, 142人</div> </td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">相談件数 (大をめざすもの)</td> <td> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">目標値; 220件</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">実績値; 令和3年度264件、 令和4年度262件</div> </td> </tr> </table> 施設の維持管理を安心安全に配慮して行っているか 施設の日常的な維持管理の実施において、利用者がサービスを受ける上で、また、従事者が業務を行う上で、事故防止のための安全管理が徹底されているか 使用許可の判断等を公平公正に行っているか 安定して確実に日常業務を遂行しているか  創意工夫ある独自企画事業を展開しているか	その施設として重要と思われる業績の評価指標 (KPI)	事業利用者延人数 (大をめざすもの)	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">目標値; 1, 500人</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">実績値; 令和3年度1, 400人、 令和4年度1, 142人</div>		相談件数 (大をめざすもの)	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">目標値; 220件</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">実績値; 令和3年度264件、 令和4年度262件</div>	事業利用者延べ人数はコロナ禍ということもあり目標値には到達しなかったが、確保すべきサービスレベルは満たしている。相談件数は目標値に達した。 こども食堂や親子交流など新しいことに取り組む姿勢は評価でき、問題のない管理運営状況といえる。	B
その施設として重要と思われる業績の評価指標 (KPI)	事業利用者延人数 (大をめざすもの)	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">目標値; 1, 500人</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">実績値; 令和3年度1, 400人、 令和4年度1, 142人</div>								
	相談件数 (大をめざすもの)	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">目標値; 220件</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">実績値; 令和3年度264件、 令和4年度262件</div>								

	評価項目	評価ポイント	評価理由	評価
3	財務健全性	貸借対照表は健全か 損益計算書は健全か 資金保有（期末残高）は健全か （当該事業の）収支状況・収支計画は適切か	財務状況は健全である。	A
4	市民満足度への配慮	利用者アンケート・市民の声等の状況は良好か 地域の市民との関係は良好か	アンケート結果では特に苦情はなく、地域の市民との関係も良好である。	B
5	従業員への配慮	労働関係法令を遵守しているか 研修体制は整備されているか 従業員が働きがいを持ちいきいきと業務に取り組んでいるか 指定管理業務（指定管理者が第三者委託する業務含む。）個々の業務を行うにあたって、従業員（第三者委託先の従業員含む。）が業務を行う際の安全管理が徹底されているか。特に業務の一部を第三者に委託する場合は、当該委託先の従事者の安全管理が徹底されているか	時間外勤務の削減や休暇の取得等、従業員の働きやすさへの配慮が見られた。 労働関係法令を遵守して運用されており問題のない管理運営状況である。 一方で、就業規則等で、育児休業の分割取得など法改正に対応できていない部分があるため改正が必要である。ハラスメントの相談窓口の設置等働きやすい環境の整備が必要である。	B
6	個人情報保護体制	個人情報保護の体制が整備されているか	個人情報保護規程が整備され運用されている。 扱う情報がデータ化していく過渡期であるため、データ管理のセキュリティソフト導入などを今後検討していく必要がある。	B
7	危機管理体制	緊急事態発生等への危機管理体制が整備されているか	問題のない管理運営状況であるといえる。	B

	評価項目	評価ポイント	評価理由	評価
	総合評価			B

(評価の基準)

- A ; 優れた管理運営状況である  
 B ; 問題のない管理運営状況である  
 C ; 改善を要する管理運営状況である

## 8 改善すべき点

- 育児休業の分割取得など就業規則等で法改正に対応できていない部分があるため、改正すること。
- ハラスメントの相談窓口の設置および、その周知をすること。
- 個人情報保護の運用ルールを书面化しておくこと。
- ひとり親家庭のニーズキャッチの手段を工夫して運営を行う必要がある。
  - ・ アンケートの聴取など、デジタルで行い効率化すべき。
  - ・ お知らせ等でも SNS を活用し、今の社会に対応していくことが重要である。
  - ・ イベントが定番化しているため、内容を工夫すること。(費用がかからず、気軽に参加、交流できるイベントを増やす等。)

## 9 総括評価

親子交流支援やこども食堂など新しいことにチャレンジする意欲や、前向きに事業に取り組む姿勢が評価できる。

ひとり親家庭支援の拠点であるセンターとして、いろいろな支援方法を工夫、検討し、SNS を使った情報発信や申込受付など、今の社会や次世代のひとり親支援に対応した事業の実施を期待する。